



Cisco Nexus Dashboard Insights インベ
ントリ、リリース 6.5.1 - Cisco NDFC
またはスタンドアロン NX-OS

目次

- 新規情報および変更情報 2
- インベントリ 3
 - インベントリについて..... 3
- スイッチ 4
 - スイッチ 4
 - 注意事項と制約事項..... 12
- インターフェイス 14
 - 概要..... 14
 - マルチキャスト 19
 - トレンドと統計 21
 - 異常..... 21
- フィルタリング情報..... 23
- 著作権 24

初版：2024 年 7 月 19 日

米国本社

Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-1706
USA

<http://www.cisco.com>

Tel: 408 526-4000
800 553-NETS (6387)
Fax : 408 527-0883

新規情報および変更情報

次の表は、最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、本リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

Cisco Nexus Dashboard Insightsの新機能と変更された動作

特長	説明	リリース	参照先
技術変更	「サイト」という用語を「ファブリック」に名称変更	6.5.1	ドキュメント全体
ルート テーブルの更新	ルート テーブルの検索や視覚化だけでなく、特定の期間に発生した可能性のある変更や喪失ルートについての調査もできます。	6.5.1	接続性

このドキュメントは、Cisco Nexus Dashboard Insights のGUI およびオンラインで www.cisco.com で入手できます。本書の最新バージョンに関しては、「[Cisco Nexus Dashboard Insights](#)」の「[Documentation](#)」を参照してください。

インベントリ

インベントリについて

[インベントリ (Inventory)] では、Nexus Dashboard Insights でスイッチに関する情報にアクセスします。

[管理 (Manage)] > [インベントリ (Inventory)] をクリックして、インベントリにアクセスします。

[インベントリ (Inventory)] の上部で、[オンライン ファブリック (Online Online)] または [スナップショット ファブリック (Snapshot Fabrics)] からインベントリを表示するか選択します。

[スイッチ (Switches)] をクリックして、スイッチの概要情報を表示します。



スイッチまたはホスト名が変更された場合、更新されたスイッチまたはホスト名がインベントリに反映されるまでに約 2 時間かかります。

スイッチ

スイッチ

[スイッチ (Switches)] は、スイッチに関する次の高レベルの情報を提供します。歯車アイコンを使用すると、一部の列を非表示にしてテーブルをカスタマイズできます。デフォルトでは、すべての列が表示されます。テーブルは、使用可能な列に基づいてフィルタリングすることもできます。ファブリック名をクリックすると、すべてのファブリックの詳細にリダイレクトされます。詳細は「[ファブリック](#)」を参照してください。

単一のスイッチに関する追加情報を取得するには、スイッチ名をクリックします。

Manage > Inventory

Inventory

Online Fabrics

Refresh

ControllersSwitches

Switches

Filter by attributes

Name	Anomaly Level	Advisory Level	Fabric	Model	Switch Role	Serial Number	Software Version	Fabric Type	
ute11-leaf 1	Warning	Healthy	DC-ute11	N9K-C93360YC-FX2	leaf	FDO24510N7A	16.0(5h)	ACI	
ute11-leaf 2	Major	Healthy	DC-ute11	N9K-C93360YC-FX2	leaf	FDO245016T6	16.0(5h)	ACI	
ute11-leaf 3	Critical	Healthy	DC-ute11	N9K-C9348GC-FXP	leaf	FDO245103AB	16.0(5h)	ACI	
ute11-leaf 4	Warning	Healthy	DC-ute11	N9K-C9348GC-FXP	leaf	FDO245103D4	16.0(5h)	ACI	
ute11-spine1	Warning	Healthy	DC-ute11	N9K-C93600CD-GX	spine	FDO244912FN	16.0(5h)	ACI	
ute11-spine2	Warning	Healthy	DC-ute11	N9K-C93600CD-GX	spine	FDO244912E2	16.0(5h)	ACI	

フィールド	説明
名前	各スイッチの名前
異常レベル	各スイッチで発生した異常レベル
アドバイザリレベル	各スイッチのアドバイザリ レベル
Fabric)	各スイッチが存在するファブリック
モデル	各スイッチのモデル タイプ
スイッチ ロール	スイッチのロールを表示します。
Insightsへの接続	スイッチの接続
シリアル番号	スイッチのシリアル番号

ソフトウェアバージョン	スイッチが使用可能なソフトウェア バージョン
フィールド	説明
ファブリックタイプ	スイッチのタイプを表示します。 ・ ACI ・ NDFC ・ NX-OS

[概要 (Overview)]、[接続 (Connectivity)]、[異常 (Anomalies)]、および [アドバイザリ (Advisories)] が表示され、デフォルトでは最初に [概要 (Overview)] が表示されます。

スイッチの概要

[概要 (Overview)]の下に次の情報が表示されます。

- ・ 異常レベル

[異常レベル (Anomaly Level)] にカーソルを合わせると、異常が属するカテゴリが表示されます。[異常レベル (Anomaly Level)] をクリックして、このコントローラに存在する異常に関するより具体的な情報を取得します。スライドインが表示され、このコントローラで発生したすべての異常が表示されます。異常間を移動する方法については、「[異常](#)」を参照してください。

- ・ アドバイザリレベル

アドバイザリ レベルにカーソルを合わせると、アドバイザリが属するカテゴリが表示されます。[アドバイザリ レベル (Advisory Level)] をクリックして、このスイッチに存在するアドバイザリに関するより具体的な情報を取得します。スライドインが表示され、このスイッチで発生したすべてのアドバイザリが示されます。[アドバイザリ (Advisories)] タブを移動する方法については、「[アドバイザリ](#)」を参照してください。

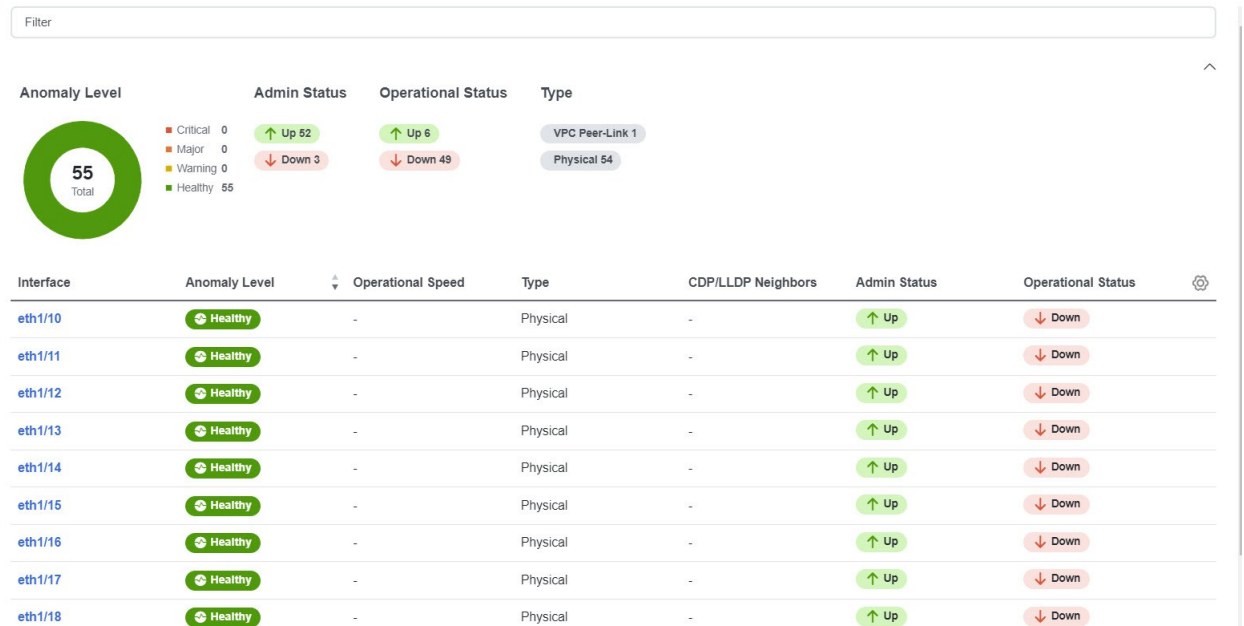
- ・ インターフェイス

[インターフェイス (Interfaces)] は、次の情報を提供します。

- ・ このスイッチのインターフェイスの総数
- ・ 物理インターフェイスの数。
- ・ スイッチ内のインターフェイスの全体的なステータス（アップ、ダウン、または物理的に使用されていないインターフェイスの数）

[合計 (Total)]テキストの上にある数字をクリックすると、このスイッチのインターフェイスに関する追加情報が表示されます。

Interfaces for leaf1



異常レベル、インターフェイス、タイプ、動作ステータス、および管理ステータスに基づいてインターフェイスのリストをフィルタリングできます。[インターフェイス (Interface)] 列にリストされている特定のインターフェイスをクリックすると、その特定のインターフェイスに関する追加情報が表示されます。詳細については、「[インターフェイス](#)」を参照してください。

スイッチの表示

[スイッチビュー (Switch View)] では、インターフェイスのステータスを確認できます。状態は、アップ (緑)、ダウン (赤)、または未使用 (グレー) です。

スイッチに複数のモジュールが取り付けられている場合は、異なるモジュール間でビューを切り替えることができます。

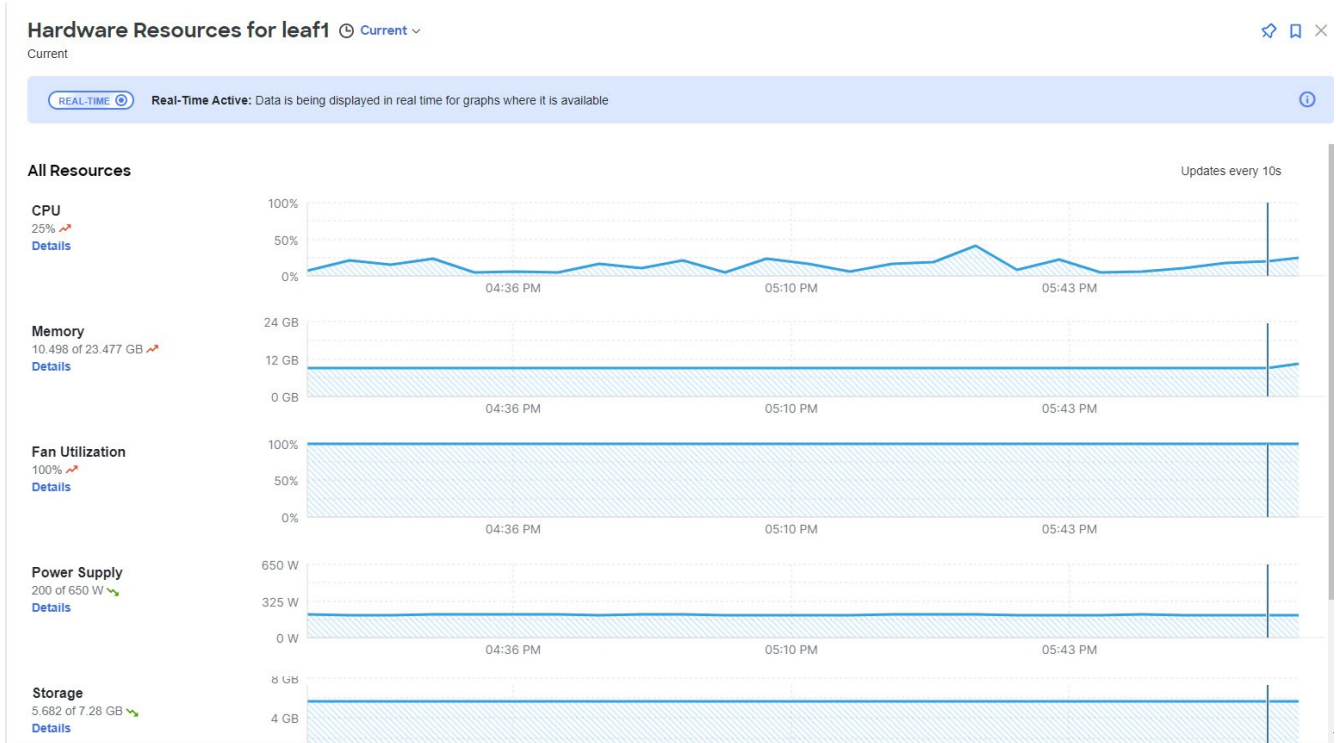
リアルタイム可視化 (RTEV) 機能により、ユーザー インターフェイス (UI) 環境内でのリアルタイムイベントのレンダリングが容易になります。この機能により、リアルタイム イベントを UI に直接スムーズに統合できます。これにより、最終的にユーザー エクスペリエンスが向上し、最新の情報がリアルタイムで提供されます。RTEV でサポートされている機能は、変更が発生すると 10 秒で現在のデータを提供しますが、通常のパイプラインを介して更新されるまでに 5 分かかります。

リアルタイムの値は、垂直バーの右側に表示されます。履歴値 (過去 2 時間) はバーの左側に表示され、データポイント間に大きなギャップが生じる場合があります。

[すべて表示 (View All)] をクリックして、取り付けられているすべてのモジュールのスイッチ ビューを表示します。[スイッチ ビュー (Switch View)] で次のリンクをクリックして、追加情報を取得します。

ハードウェアリソースの表示

[ハードウェア リソースの表示 (View Hardware Resources)] をクリックすると、このスイッチのハードウェア リソースに関する情報がリアルタイムで表示されるスライドインが表示されます。リアルタイムの可視化は、リソースに関する最新情報を表示するのに役立ちます。[ハードウェア リソース (Hardware resources)] には、選択した時間範囲におけるハードウェア リソースの変動が表示されます。コンポーネントごとの使用率とともに表示されるハードウェア リソースは、CPU、ファン使用率、メモリ、電源、ストレージ、および温度です。任意のリソースをクリックすると、そのリソースに関する詳細が表示されます。



キャパシティの表示

[**キャパシティの表示 (View Capacity)**] をクリックして、スイッチのキャパシティ情報を含むスライドインが表示されます。キャパシティの詳細には、選択した時間範囲における運用、構成、およびインターフェイス リソースの変動が表示されます。

リソースのタイプ	リソースのリスト
運用リソース	- 出力ルーテッドACL - IPv4ホストルート - IPV4 プレフィックス ルート - IPv6ホストルート - IPV6 プレフィックス ルート - 入力ルーテッドACL - L2 QoS TCAM - L3 QoS TCAM - MAC - マルチキャスト ルート
設定のリソース	- L2 VNI - L3 VNI - VLAN - VRF
インターフェイスリソース	- 出力ポート帯域幅 - 入力ポートの帯域幅 - ポートの使用

ポート ダイアグラム キーは、スイッチ ビューを理解するのに役立ちます。インターフェイスに関する詳細を表示するには、スイッチビューで任意のインターフェイスをクリックします。詳細については、「[インターフェイス](#)」を参照してください。

・ **【全般 (General)】**

【全般 (General)】 には、次の情報が表示されます。

フィールド	説明
ファブリック	各スイッチが存在するファブリック
ロール	ロールは、デバイスが何であることを定義します
Type	スイッチのタイプを表示します。 ・ アクセス ・ 集約 ・ ボーダー ・ リーフ ・ スパイン ・ ToR  Nexus Dashboard Insights は、ToR スwitchをオンボーディングして、ファブリックの完全な可視性を提供します。これには、オンボーディング前の ToR スwitchのレイヤ 3 インターフェイス (SVI) が必要です。  レイヤ 2 ToR は、ヘッドレス モードとモニタ対象モードのファブリックでサポートされるトポロジです。ここから PTP 構成を TOR をプッシュする 必要があります。NDFC 管理対象モード ファブリックの場合、これはサポートされていません。
Insightsへの接続	スイッチの接続ステータス

フィールド	説明
テレメトリ収集ステータス	テレメトリ収集ステータスは、ネットワーク内のスイッチとデバイスの正常性とパフォーマンスに関する洞察を提供します。ファブリック レベルのさまざまなテレメトリ収集ステータスには、次のものがあります。 ・ [OK] : このステータスは、スイッチから Nexus Dashboard Insights へのテレメトリ データ ストリーミングが正常に機能していることを示します。これは、ネットワークのパフォーマンスに対する包括的なモニタリングと可視性を保証するため、望ましい状態です。 ・ [Not OK] : このステータスは、スイッチから Nexus Dashboard Insights へのテレメトリ データ ストリーミングが正常に機能していることを示します。これは、ネットワークの停止、構成の誤り、ハードウェアの障害など、さまざまな問題の結果として発生する可能性があります。
ソフトウェアバージョン	スイッチのソフトウェア バージョン
最後のソフトウェア更新	このスイッチでソフトウェアが最後に更新された日付
稼働時間 (Uptime)	このスイッチが稼働している時間。スイッチが最後にリブートされた日時也表示されます。
モデル	このスイッチのモデル タイプ
シリアル番号	このスイッチのシリアル番号
アウトオブバンドIPv4アドレス	このスイッチのアウトオブバンド管理用の IPv4 アドレス
アウトオブバンドIPv6アドレス	このスイッチのアウトオブバンド管理用の IPv6 アドレス
インバンドIPv4アドレス	このスイッチのインバンド管理の IPv4 アドレス
[スイッチID (Switch ID)]	スイッチの ID
作成時刻	スイッチが作成された日時

・ 接続

[接続 (Connectivity)] には次の情報を示します。

フィールド	説明
エンドポイント	このスイッチに関連付けられているエンドポイントの数
L3ネイバー	このスイッチに関連付けられているレイヤ 3 ネイバーの数

エンドポイントまたはレイヤ 3 ネイバーに関する追加情報を取得するには、これらのエリアのいずれかに表示されている番号をクリックします。

- ・ **分析サマリー**

[分析 (Analytics)] サマリーには、スイッチの輻輳レベルが表示されます。

接続

[**接続 (Connectivity)**] をクリックして、このスイッチの接続情報を表示します。以下 が表示されます
[**接続 (Connectivity)**]、デフォルトでは **インターフェイス** が最初に表示されます。

次のいずれかをクリックすると、このスイッチの追加の接続情報が表示されます。

- ・ **インターフェイス**

[インターフェイス (Interfaces)] をクリックして、このスイッチのインターフェイスを表示します。
インターフェイスで利用可能な情報は次のとおりです。

- ・ 異常レベル (インターフェイスのダウン異常のみがリアルタイム)
- ・ 管理ステータス (リアルタイムの可視化)
- ・ 運用ステータス (リアルタイムの可視化)
- ・ Type

インターフェイスは表形式で表示されます。次のデータは、テーブル内のインターフェイスで使用できます。

- ・ 異常レベル
- ・ 動作速度
- ・ Type
- ・ CDP/LLDP
- ・ 管理ステータス
- ・ 動作ステータス

オプションの他のさまざまな列があり、歯車アイコンをクリックして表示/非表示を切り替えることでテーブルに追加できます。詳細については、「[インターフェイス](#)」を参照してください。

- ・ **L3ネイバー**

[L3ネイバー (L3 Neighbors)] をクリックして、このスイッチの L3 ネイバーを表示します。ネイバー、ローカルスイッチ、VRF、および動作ステータスに基づいて結果をフィルタリングできます。
[ネイバー (Neighbor)] 列の IP アドレスをクリックして、このネイバーの詳細を表示します。

- ・ **エンドポイント**

[**エンドポイント (Endpoints)**] を クリックして、このスイッチのエンドポイントを表示します。異常に基づいて結果をフィルタリングできます。レベル、MAC アドレス、IP アドレス、ホスト名、接続先、インターフェイス、時刻、ステータス、テナント、VRF、BD、EPG/L3out、削除された IP の検索、VM 名、ハイパーバイザ。

MAC アドレス、IP アドレス、またはホスト名をクリックすると、そのエンドポイントに関する次の追加情報が表示されます。選択したエンドポイントの **【概要 (Overview)】**、**【エンドポイント履歴 (Endpoint History)】**、および **【異常 (Anomalies)】** を表示できます。

・ ルート

- ・ **【ルート (Routes)】** をクリックして、このスイッチのルートの詳細を表示します。
- ・ ドロップダウン リストから選択して、IPv4 または IPv6 ルートの詳細を表示できます。
- ・ **【ダウンロード (Download)】** をクリックして、過去 7 日間のルートテーブルをダウンロードします。
- ・ ルート、プロトコル、または VRF に基づいてテーブルをフィルタリングできます。
- ・ **【VRF ごとのルート (Routes per VRF)】** グラフには、上位 10 個の VRF の VRF ごとのルート数が表示されます。
- ・ **【変更の概要 (Change Summary)】** では、追加、変更、および削除されたルートの数を確認できます。**【変更の概要 (Change Summary)】** をクリックすると、変更または削除されたすべてのルートが表形式で一覧表示されます。
- ・ **【ルート (Routes)】** テーブルには、ルート、ノード名、プロトコル、VRF、ネクストホップなどの情報が表示されます。**【ルート (Routes)】** テーブルには、10,000 のルート テーブル エントリと 10,000 の履歴イベントのみが表示されます。**【ルート (Routes)】** テーブルには、選択した時間範囲に関係なく、常に現在のルートテーブルが表示されます。
- ・ リストされているルートをクリックすると、変更のタイムラインとともに **【一般 (General)】** ビューと **【ルート履歴 (Route History)】** ビューが表示されます。**【全般 (General)】** ページには、そのルートで使用可能なすべてのネクスト ホップのリストが表示されます。**【ルート履歴 (Route History)】** ページには、最新の 50 件のルート イベントの詳細が表示されます。ルート履歴イベントには、削除または変更されたイベントが表示されます。ルート追加イベントは、変更されたルート カテゴリの下に表示されます。
- ・ 各ネクスト ホップ IP アドレスには、そのアドレスが構成されているノード名とインターフェイスが添え字として付けられます。
- ・ ルーティング ページ バナーの **【詳細の表示 (View Details)】** をクリックすると、サポートされていないノード、非アクティブなノード、スイッチ接続、障害、および選択した時間範囲のデータに不整合があるかどうかが一覧表示されます。

・ vPCドメイン

【vPC ドメイン (vPC Domains)】 をクリックして、このスイッチの vPC ドメインを表示します。ドメイン ID に基づいて結果をフィルタリングできます。**【ドメイン ID (Domain ID)】** 列のドメインをクリックして、そのドメインの vPC ドメインの詳細を表示します。**【インターフェイス (Interface)】** 列のインターフェイスをクリックすると、そのインターフェイスに関する追加情報が表示されます。

・ マルチキャスト

マルチキャスト カードには、スイッチの IGMP、IGMP スヌーピング、および PIM の詳細が表示されます。インスタンスのテーブルでは、次の情報が表示されます。

プロトコルタイプ	インスタンス テーブルのフィールド
IGMP の詳細	・ インターフェイス ・ Admin State ・ 運用ステータス ・ テナント ・ VRF ・ IPアドレス ・ クエリアのアドレス ・ メンバーシップの数 ・ クエリアバージョン ・ エラー ・ 統計情報を表示する
IGMP スヌーピングの詳細	・ VLAN ・ Admin State ・ クエリアのアドレス ・ クエリアバージョン ・ マルチキャスト ルーティング ステート ・ スイッチクエリア状態 ・ エラー ・ 統計情報を表示する
PIMドメインの詳細	・ VRF ・ ランデブーポイントアドレス

注意事項と制約事項

Real Time Visualization (RTEV) の注意事項と制限事項

- ・ コントローラ イベントはリアルタイムではなく、RTEV はスイッチのみに制限されます。
- ・ RTEV の場合、20 の UI セッションがサポートされます。
- ・ リアルタイム接続を確立するには、NDFC およびコントローラのない Cisco NX-OS サイトで NX-API 機能を有効にする必要があります。

ハードウェア リソースを表示する際の注意事項と制限事項

すべてのパラメータは、スイッチが データを送信するときに、スイッチからのパターンに基づいてリアルタイムで更新されます。

ルート テーブルに関する注意事項と制限事項

- ・ ルート テーブルは、NX-OS リリース 10.4(3) 以降でのみサポートされます。
- ・ スイッチで gRPC ネットワーク管理インターフェイス (gNMI) トランスポート機能を有効にする必要があります。gNMI トランスポートを有効にするには、次のように構成する必要があります。
 - ・ FabricPassword/LanPassword/LeafPassword の構成
 - ・ NX-API 機能を有効にします。
- ・ ルーティング コレクタには、サポートされている規模のルート変更イベントのみを処理するためのメータリングが組み込まれており、残りのルート イベントはドロップされます。たとえば、物理的な標準展開では、100 万のルート更新を 3 分で取り込むことができます。データ ドロップは、ルート バナーを使用して UI に示されます。メータリングが原因でルート イベントがドロップされると、スナップショットの再作成とルート データの調整に時間がかかります。
- ・ 新しくオンボーディングされたファブリックまたはスイッチの場合、[ルート (Routes)] テーブルが使用可能になるまでに時間がかかる場合があります。
- ・ ルート テーブルのダウンロード API は、スイッチ レベルのページでのみ許可されます。処理された履歴イベントのプレフィックスがスイッチあたり 50,000 未満の場合、API は完全なルートテーブルを返します。
- ・ ルート データベースで大量の更新が発生すると、メータリング論理がこれらの更新の一部をドロップし、2 時間以内に表示された **【新規 (New)】**、**【変更 (Modified)】**、または **【削除済み (Deleted)】** プレフィックスまたはルートのカウントが不正確になる可能性があります。このシナリオでは、スイッチへの再スナップショット要求が開始されます。これにより、ルート データベースがスイッチと同期され、特定のファブリックのルートの総数が正確に反映されます。

インターフェイス

次のインターフェイス タイプ（リアルタイムの可視化）がサポートされています。

- ・ **[物理インターフェイス (Physical Interface)]** : ノード名、物理インターフェイス名、動作ステータス、管理状態など、ノードのインターフェイスの詳細を表示します。このページには、物理インターフェイスのプロトコル、QoS、およびDOMプロパティも表示されます。
- ・ **[ポートチャネルインターフェイス]** : ポートチャネルは物理インターフェイスの集合体であり、統計的にチャネル化したり、LACPプロトコルを使用して動的にしたりできます。パケット、バイト、およびさまざまなエラーのカウントを収集する統計データは、物理インターフェイスの統計データと同様です。150 個の送信元名で、物理インターフェイスをポートチャネル（集約インターフェイス）と区別します。運用データは、管理ステータス、運用ステータス、およびPCとvPCの両方のメンバーインターフェイスのリストを提供する追加のオブジェクトセットを調べることによって取得されます。
- ・ **[vPCインターフェイス]** : vPCは、耐障害性のために2つの物理スイッチにまたがる論理インターフェイスです。vPC インターフェイスタイプの場合、論理ネイバー情報も表示されます。サポートされているカテゴリは、L3Out、IPN、ISN、L4-L7 です。
- ・ **SVIインターフェイス** : SVIは、仮想ルーテッドインターフェイスであり、デバイスのVLANを同じデバイスのレイヤ3ルータエンジンに接続します。SVIが展開されているメンバーインターフェイス、VLAN ID、VLANタイプ、カプセル化VLANなど、SVIインターフェイスの特定の情報が表示されます。

インターフェイスをクリックすると、その詳細が表示されます。

概要

[異常 (Anomaly)] レベルは上部にあります。概要のフィールドは、サポートされるインターフェイスのタイプによって異なります。

- ・ **[インターフェイス タイプ (INTERFACE TYPE)]** : 物理

セクション	
一般	・ インターフェイス ・ タイプ（アクセス ポート、トランク ポート、L3 ポート） ・ IPアドレス ・ 管理ステータス ・ 動作ステータス ・ CDP/LLDP ネイバー ・ 合計エンドポイント数 ・ SFP 診断 ([SFP 診断の表示 (View SFP Diagnostics)] をクリックして詳細を表示できます)  LLDP が無効になっている場合、タグには「LLDP disabled」と表示されます。それ以外の場合はカウントが表示されます。これは、CDP ネイバーにも適用されます。

セクション	
インターフェイスで許可される VLAN (アクセス シングルポートおよびトランクマルチポートで使用可能)	・ VLAN ID ・ VNI
サブ インターフェイス (アクセス シングル ポートおよびトランク マルチ ポートで使用可能)	・ サブ インターフェイス ・ IPアドレス
関連する ルーティング プロトコル (L3 ポート用)	・ プロトコル ・ タイプ

・ インターフェイス タイプ : ポート チャンネル

セクション	
一般	・ インターフェイス ・ 説明 ・ タイプ (アクセス ポート、トランク ポート、L3 ポート、vPC ドメインの vPC ピアリンク) ・ 集約タイプ ・ 帯域幅 ・ IPアドレス ・ 管理ステータス ・ 動作ステータス ・ CDP/LLDP ネイバー ・ 合計エンドポイント数 ・ SFP 診断 ([SFP 診断の表示 (View SFP Diagnostics)] をクリックして詳細を表示できます)  LLDP が無効になっている場合、タグには「LLDP disabled」と表示されます。それ以外の場合はカウントが表示されます。これは、CDP ネイバー にも適用されます。

セクション	
LACPの詳細	・ インターフェイス ・ 管理ステータス ・ 動作ステータス ・ LACP 受信パケット ・ 転送された LACP パケット ・ エラー
インターフェイスで許可される VLAN (アクセス シングル ポートおよびトランク マルチ ポートで使用可能)	・ VLAN ID ・ VNI
SFP診断(DOM)	・ レーン ・ 電圧 ・ 温度 ・ 現在 ・ 送信電力値 ・ 受信電力値

・ インターフェイス タイプ : vPC



vMCT はサポートされていません。

セクション	
一般	・ インターフェイス ・ 説明 ・ タイプ ・ vPC ドメイン ・ 帯域幅 ・ IPアドレス ・ 管理ステータス ・ 動作ステータス ・ CDP/LLDP ネイバー ・ 合計エンドポイント数 ・ SFP 診断 ([SFP 診断の表示 (View SFP Diagnostics)] をクリックして詳細を表示できます)  LLDP が無効になっている場合、タグには「LLDP disabled」と表示されます。それ以外の場合はカウントが表示されます。これは、CDP ネイバー にも適用されます。
メンバー	・ スイッチ ・ ポート チャネル ・ 集約タイプ ・ インターフェイス ・ 運用ステータス
インターフェイスで許可される VLAN (アクセス シングル ポートおよびトランクマルチポートで使用可能)	・ VLAN ID ・ VNI
SFP診断(DOM)	・ レーン ・ 電圧 ・ 温度 ・ 現在 ・ 送信電力値 ・ 受信電力値

・ インターフェイス タイプ : サブインターフェイス

セクション	
一般	・ インターフェイス ・ 説明 ・ タイプ (L3 ポート) ・ 親インターフェイス ・ VRF ・ Encap ・ IPアドレス ・ 管理ステータス ・ 動作ステータス ・ CDP/LLDP ネイバー ・ 合計エンドポイント数 ・ SFP トランシーバ ([SFP 診断の表示 (View SFP Diagnostics)] をクリックして詳細を表示できます)  LLDP が無効になっている場合、タグには「LLDP disabled」と表示されます。それ以外の場合はカウントが表示されます。これは、CDP ネイバー にも適用されます。
関連するルーティング プロトコル (L3 ポート用)	・ プロトコル ・ タイプ

・ インターフェイスタイプ : NVE

セクション	
一般	・ インターフェイス ・ 説明 ・ タイプ (L2/L3 ポート) ・ カプセル化 ・ モード ・ 管理ステータス ・ 動作ステータス ・ [ピア (Peers)]
VNI	・ VNID ・ マルチキャスト グループ ・ Type ・ VLAN/VRF

・ インターフェイス タイプ : SVI

セクション	
一般	・ インターフェイス ・ 説明 ・ タイプ ・ [IP アドレス (IP Address)] ・ Encap ・ 管理ステータス ・ 動作ステータス ・ SFP トランシーバ ([SFP 診断の表示 (View SFP Diagnostics)] をクリックして詳細を表示できます)
[関連付けられたルーティング プロトコル (Associated Routing Protocols)] (ルーティングプロトコルが構成されている場合にのみ使用可能) (Real Time Visualization)	・ プロトコル ・ タイプ

マルチキャスト

[マルチキャスト (Multicast)] をクリックすると、このインターフェイスのマルチキャスト ルートの詳細が表示されます。

セクション	
一般	・ [IPアドレス (IP Address)] ・ IGMP バージョン ・ IGMP クエリア ・ IGMPラストレポータ ・ 管理状態 ・ 操作の状態 ・ VRF ・ テナント ・ 指定ルータアドレス ・ 指定ルータの優先順位 ・ ネイバーアドレス

セクション	
マルチキャストグループ	・ 送信元 ・ マルチキャスト グループ ・ VRF ・ 最終レポーター

任意のインターフェイスについて、**IGMP** の 詳細または **PIM** の 詳細を表示するように選択
できます。IGMP の詳細：

- ・ 一般情報
 - ・ ファーストリーブ
 - ・ V3 ASM を許可
 - ・ リンクローカルグループのレポート
- ・ 統計情報
 - ・ V2受信したままにする
 - ・ V2送信したままにする
 - ・ V2クエリを受信しました
 - ・ V2クエリが送信されました
 - ・ V2レポートを受信しました
 - ・ V2レポートが送信されました
 - ・ V3 クエリを受信しました
 - ・ V3クエリが送信されました
 - ・ V3 レポートを受信しました
 - ・ V3 レポート送

信 PIM の詳細：

- ・ ネイバーの詳細
 - ・ ネイバー
 - ・ BFD設定
 - ・ Bi-dir 構成
- ・ 統計情報
 - ・ 認証に失敗しました
 - ・ 不正なバージョンのパケット
 - ・ チェックサムエラー
 - ・ 無効なパケットを受信しました
 - ・ 無効なパケットを送信しました
 - ・ RPに参加しない
 - ・ 誤ったRPに参加する
 - ・ 自己からのパケット
 - ・ パケット長エラー
 - ・ パッシブ インターフェイスのパケット

トレンドと統計

[傾向と統計情報 (Trends and Statistics)] をクリックして、このスイッチの特定のインターフェイスに関する傾向と統計情報を表示します。インターフェイスを流れるトラフィックに関する情報、マイクロバーストとエラーの使用状況、およびさまざまな統計情報が表示されます。すべての情報がリアルタイムで利用できるようになりました。リアルタイムの可視化は、最新の情報を表示するのに役立ちます。

NX-OS スイッチは、新しいサブスクリプション サービスをサポートし、すべてのサンプル (10 秒ごと) に関係するすべてのクライアントに通知を送信します。ダイヤルイン接続に問題が発生した場合は、1 分間隔の通常の更新頻度に自動的にフォールバックします。

- ・ 管理ステータス (リアルタイムの可視化)
- ・ 運用ステータス (リアルタイムの可視化)
- ・ エラー (リアルタイムの可視化)
- ・ トラフィック (バイト別またはパケット別) (リアルタイムで可視化)
 - ・ LSDB の
 - ・ マルチキャスト
 - ・ ユニキャスト
 - ・ 合計 (Total)
- ・ 帯域幅 (リアルタイムの可視化)
 - ・ 使用率
 - ・ レート
- ・ 輻輳
 - ・ 輻輳スコア
 - ・ PFC
 - ・ ECN
 - ・ ドロップ
 - ・ RED/WRED/AFD
 - ・ エラー

輻輳統計情報には、送受信されたトラフィックの ECN および PFC カウンタが表示されます。これは、輻輳が発生している場所を表示するために使用されます。表示されたカウンタ グラフのいずれかをクリックすると、キューごとのカウンタが表示されます。これにより、キュー内のカウンタのリストと、それぞれのキュー内のパケット数が表示されます。

異常

クリックすると、このスイッチのこの特定のインターフェイスに関する異常情報が表示されます。詳細については、「[異常](#)」を参照してください。

[異常レベル (Anomaly Level)] には、発生した異常の合計数と、過去 1 週間に発生した異常の数が表示されます。

[異常レベル (Anomaly Level)] にカーソルを合わせると、発生した異常のカテゴリが表示されます。特定のコントローラまたはスイッチに存在する異常に関する特定の情報を取得するには、[異常レベル (Anomaly Level)] をクリックします。

[すべての異常] の表示 (View all anomalies)] により、[異常 (Anomalies)] に移動します・異常間を移動する方法については、「[異常](#)」を参照してください。

フィルタリング情報

一部のケースで、結果をフィルタして、より簡単に情報を見つけることができる可能性があります。

たとえば、単一のリーフスイッチの下に多数のエンドポイントがあるが、特定の VLAN 値を持つエンドポイントにのみ関心がある場合があります。

このような場合、情報をフィルタして特定のエンドポイントのみを表示することもできます。

フィルタの絞り込みには次の演算子を使用します。

演算子	説明
==	最初のフィルタ タイプでこの演算子および後続の値を使用すると、完全一致のデータが返されます。
!=	最初のフィルタ タイプ。この演算子および後続の値を使用すると、同じ値を含まないすべてのデータが返されます。
~を含む	最初のフィルタタイプ。この演算子および後続の値を使用すると、その値を含むすべてのデータが返されます。
!contains	最初のフィルタタイプ。この演算子および後続の値を使用すると、その値を含まないすべてのデータが返されます。
<	最初のフィルタタイプ。この演算子および後続の値を使用すると、その値より小さい一致データが返されます。
< =	最初のフィルタ タイプ。この演算子および後続の値を使用すると、その値以下の一致データが返されます。
>	最初のフィルタ タイプ。この演算子および後続の値を使用すると、その値より大きい一致データが返されます。
> =	最初のフィルタ タイプ。この演算子および後続の値を使用すると、その値以上の一致データが返されます。

著作権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『INFORMATION PACKET』に記載されており、この参照により本マニュアルに組み込まれるものとします。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco およびCisco のロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。

© 2017-2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.